

# ACCELERATOR CONTROL, FUEL & EXHAUST SYSTEMS

## **FE** アクセルコントロール、 フューエル & エキゾースト

### 目次

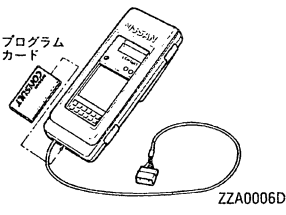
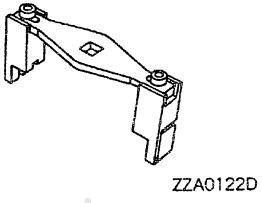
概要・準備品 .....	FE- 2
概要 .....	FE- 2
特殊工具 .....	FE- 2
油脂及びその他 .....	FE- 2
アクセルコントロールシステム .....	FE- 3
フューエルタンク .....	FE- 5
フューエルポンプ、フューエルゲージ .....	FE-11
エキゾーストシステム .....	FE-14

FE

### 概要

ここでは、RB20E、RB25DEエンジン搭載車の変更点及びRB26DETTエンジン搭載車について記載する。

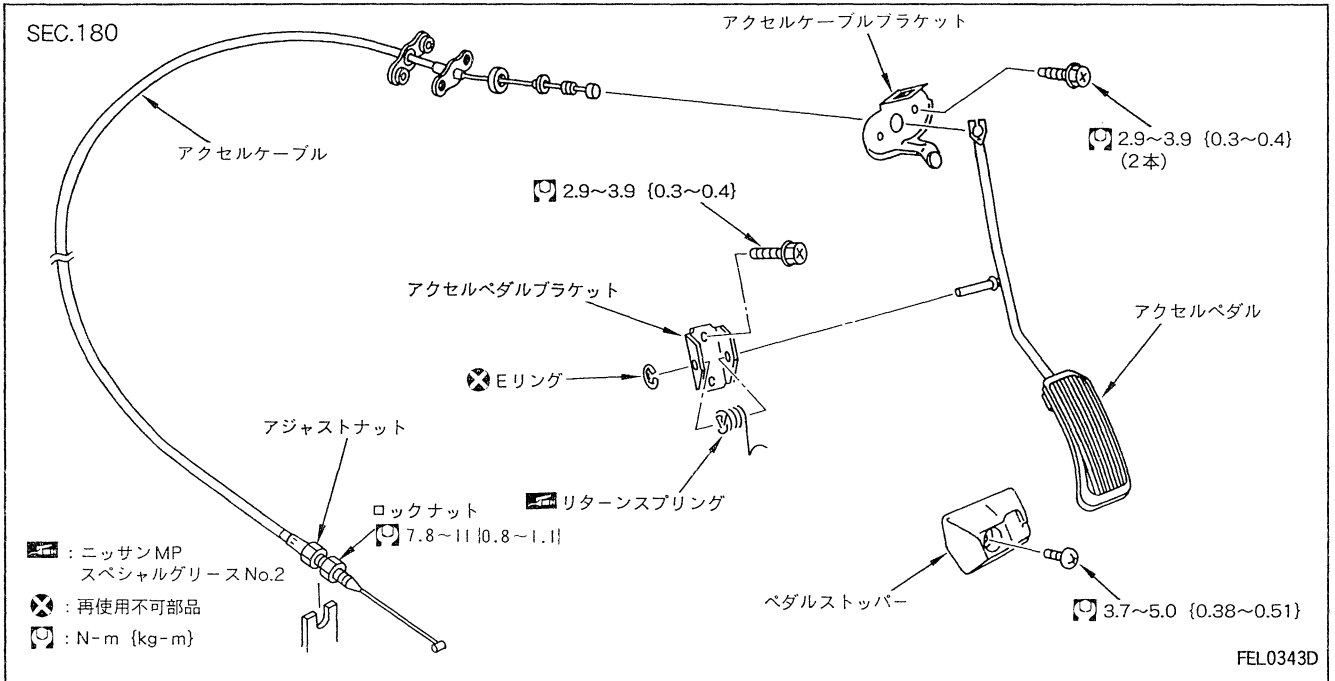
### 特殊工具

名 称	用 途	備 考
電子システム診断テスター CONSULT(コンサルト) EG1180 0000 	燃圧除去	既 設
ロックリングレンチ KV991 04700 	フューエルタンクセンサー ユニットロックリング脱着	

### 油脂及びその他

名 称	用 途
ニッサンMPスペシャルグリースNo.2	アクセルペダルリターンスプリング潤滑

# アクセルコントロールシステム



## 取り外し

1. アクセルケーブルブラケットからアクセルケーブルアウターケースを外す。
2. アクセルケーブルをスロットルドラム側で外す。
3. アクセルケーブルをアクセルペダル側で外す。
4. アクセルペダルブラケット取付ボルトを取り外し、アクセルペダル・ブラケットASSYを取り外す。

## 取り付け

取り付けは、下記に注意し取り外しと逆の手順で行う。

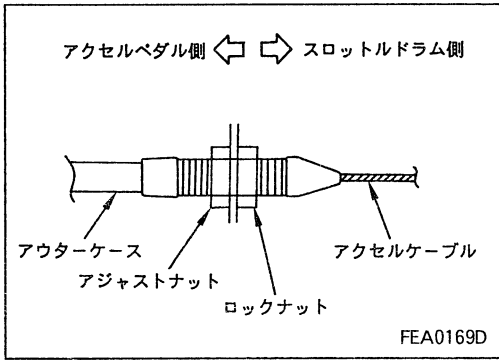
- リターンスプリングにニッサンMPスペシャルグリースNo.2を塗布する。
- Eリングは新品と交換する。

注意：

- ケーブルの芯部に傷、曲げくせなどをつけないようにする。
- 分解、組み立て時には、各部への給脂を確実に行うこと。ただし、ケーブル内部は無油脂である。
- アクセルペダル作動域において、他部品との干渉による戻り不良がないことを確認する。

## 点検

- アクセルペダルをいっぱい踏んだときに、スロットルドラム側が全開となること。
- 滑らかに作動すること。



### 調整

- アクセルケーブルのワイヤに十分たるみを与えた状態からアジャストナットにより、アウターケースをアクセルペダル方向に引っ張り、スロットルドラムが動き始めた位置（このとき遊びは0）から1.5～2.0回転アジャストナットを戻し、ロックナットを締め付ける。

ロックナット締め付トルク (N-m {kg-m}) : 7.8 ~ 11 {0.8 ~ 1.1}

@gabednconfused  
@gabednconfused  
@gabednconfused  
@gabednconfused



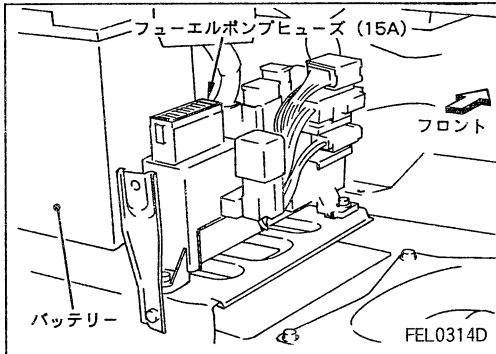
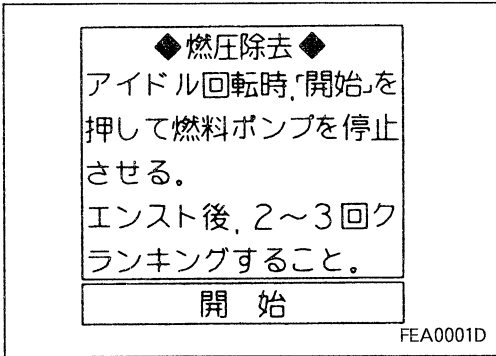
## フューエルタンク

### 取り外し (続き)

#### 5. 燃圧を除去する。



- エンジンを始動させる。
- 作業サポートで“燃圧除去”を選ぶ。
- “開始”をタッチし、エンスト後2~3回クランキングする。
- 始動不良車の場合は、3~4回クランキングする。



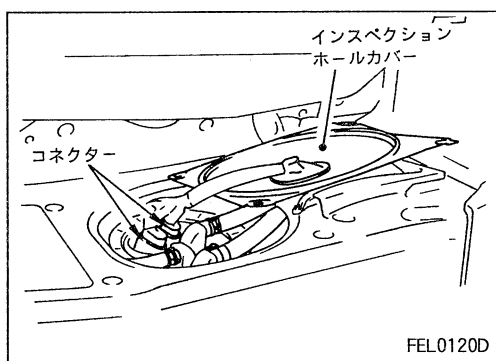
- エンジン始動後、フューエルポンプヒューズを外し、エンストするまで回す。さらに2~3回クランキングし、配管中の燃料を消費する。

#### 6. バッテリーマイナス端子を取り外す。

#### 7. フューエルフィルターリッドを開ける。

#### 8. リヤスピーカーアンプ、リヤスピーカーアンプブラケットを取り外す。

(「スカイラインR33型整備要領書 (A006023) BEL編オーディオ」の項参照)



#### 9. インスペクションホールカバーを開け、フューエルセンサーユニットからコネクターを外す。

#### 10. フューエルタンク内の燃料を給油口又はフューエルセンサーユニットを取り外して抜き取る。

- フューエルセンサーユニットの取り外しは、「フューエルポンプ、フューエルゲージ」の項参照のこと。

注意：換気の良い火気のない場所で消火器をそばに置いて行うこと。

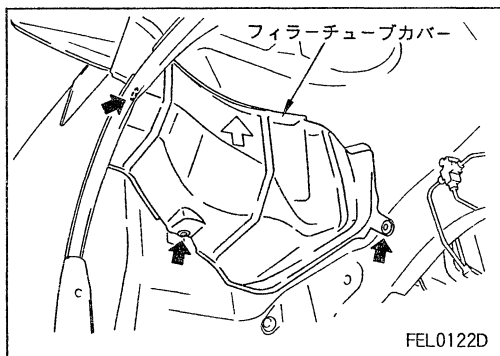
#### 11. エキゾーストセンターチューブ、メインマフラーを取り外す。

(「エキゾーストシステム」の項参照)

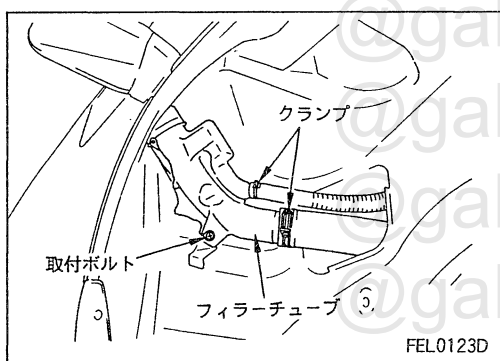
## フューエルタンク

### 取り外し (続き)

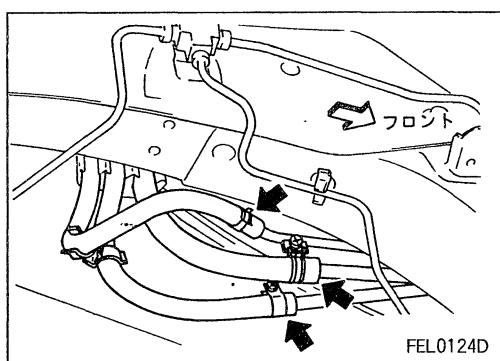
12. プロペラシャフトを取り外す。  
(「スカイラインR33型整備要領書追補版 I (A006025) PD編プロペラシャフト」の項参照)
13. リヤサスペンションメンバーASSYを取り外す。  
(「RA編リヤサスペンションASSY」の項参照)
14. パーキングブレーキワイヤ、ディファレンシャルブリーザーホース、ABSセンサーハーネスを取り外す。



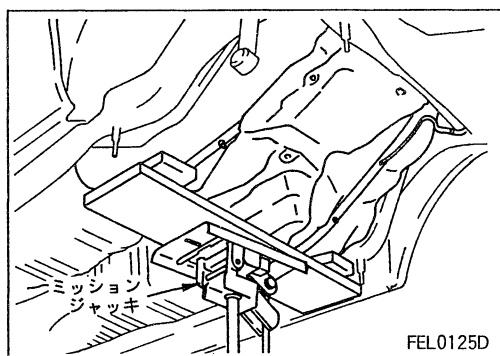
15. フィラーチューブカバーを取り外す。



16. フィラーチューブを取り外す。
  - クランプ2箇所を緩めてホースを外し、取付ボルトを外してフィルターチューブを給油口側グロメットから引き抜く。



17. フューエルタンク右側のフューエルホースを外す。
  - 取り付け時に誤接続しないよう合いマークをつける。

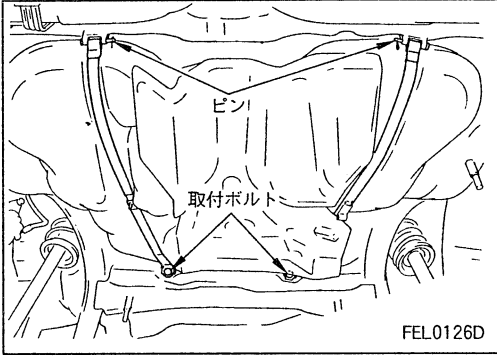


18. ミッションジャッキでフューエルタンク底部を支える。
  - 当て板等を使用し、確実にタンク底部を支えること。

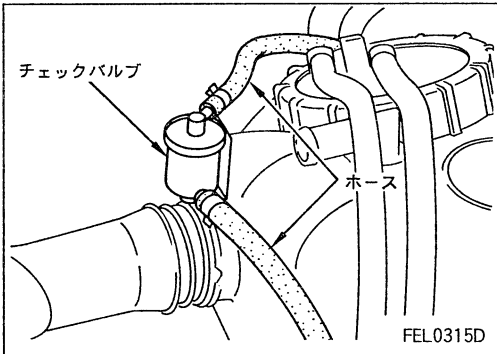
参考 : フューエルタンクプロテクターを取り外す必要がある場合はミッションジャッキで支える前に取り外す。

## フューエルタンク

### 取り外し (続き)



19. フューエルタンク取付バンドのフロント側ピン2箇所、リヤ側取付ボルト2本を取り外す。
20. フューエルタンクを支えながら慎重にミッションジャッキを下げ、フューエルタンクを取り外す。



21. フューエルチェックバルブを取り外す。
  - ホース (2本) を外し、ブラケットからクリップを外して取り外す。

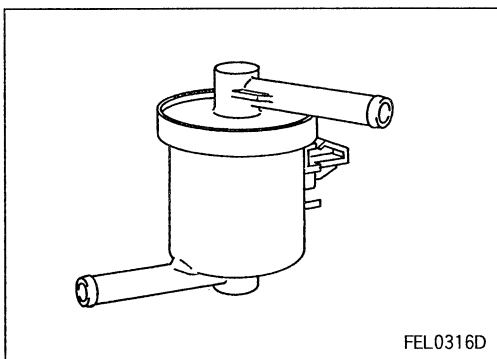
### 点検

#### フューエルタンク目視点検

- き裂、破損がないか点検する。
- 異常がある場合は新品と交換する。

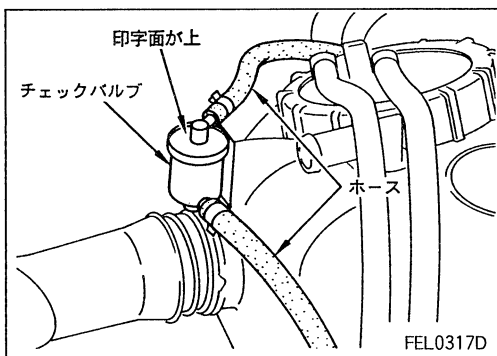
#### フューエルホース目視点検

- き裂、破損がないか点検する。
- 異常がある場合は新品と交換する。



#### フューエルチェックバルブ機能点検

「MA編点検整備要領ばい煙、悪臭のあるガス、有害なガス等の発散防止装置」の項参照のこと。



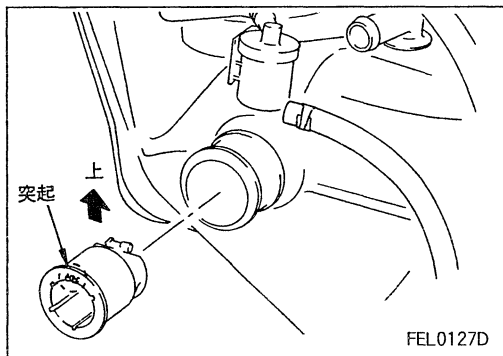
### 取り付け

1. フューエルチェックバルブを取り付ける。
  - 印字面が上になるよう取り付ける。
  - ホースは突き当たるまで挿入し、クランプを確実に取り付ける。

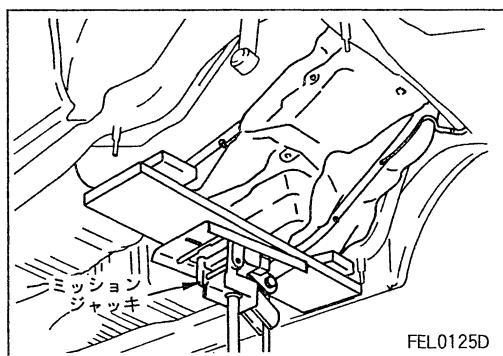


## フューエルタンク

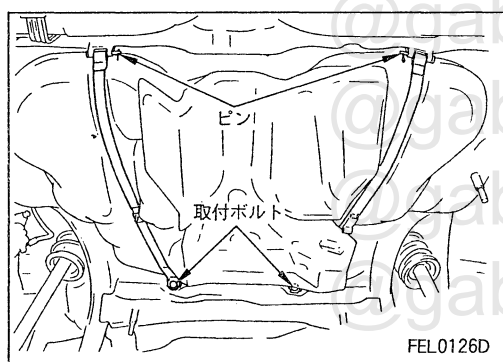
### 取り付け (続き)



2. フューエルタンク給油口のカラーは突起が上になるよう取り付ける。
3. 各フューエルホースを取り外したときと同じ状態になるよう取り付ける。
  - ホースは確実に接続する。
  - クランプはバルジ部分 (段差部分) にかからないよう取り付け、確実に締め付ける。

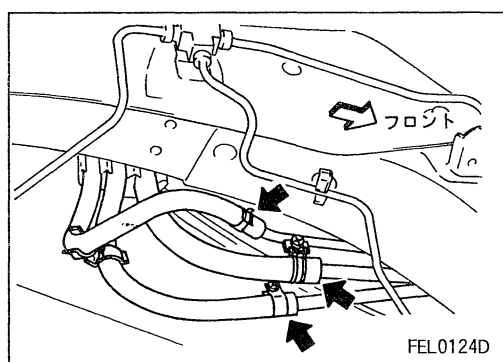


4. ミッションジャッキで底部を支え、フューエルタンクASSYを取り付け位置にセットする。
  - フィラーホース、ベントホースが車体と干渉するのでボディの穴に入るまで手で折り曲げる。

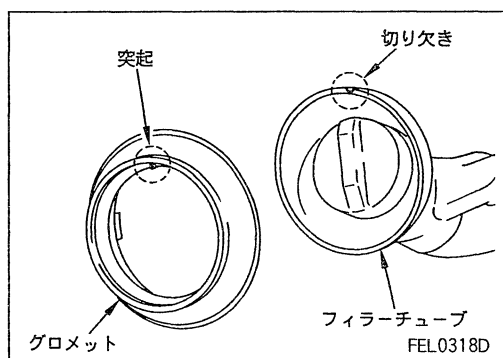


5. フューエルタンク取付バンドを取り付ける。
  - バンド裏面 (タンク側) に右側のみRのペイントがあるので識別して取り付ける。
  - フロント側のピンは外側から内側に向けて挿入し、抜け止めピンを確実に取り付ける。
  - リヤ側取付ボルトは新品と交換する。

締付トルク (N·m [kg·m]) : 26 ~ 36 [2.7 ~ 3.7]
6. フューエルタンクプロテクターを取り付ける。



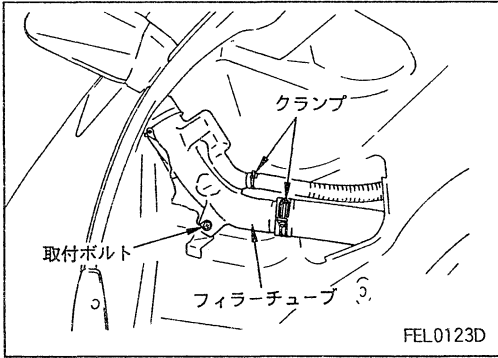
7. フューエルタンク右側のフューエルホースを接続する。
  - 取り外し時に付けた合いマークを参照して接続する。
  - クランプはバルジ部分 (段差部分) にかからないよう取り付け、確実に締め付ける。



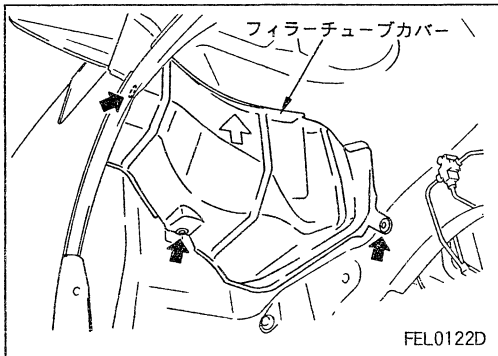
8. フィラーチューブを取り付ける。
  - 給油口側のグロメットは突起をフィラーチューブの切り欠きに合わせて取り付ける。

## フューエルタンク

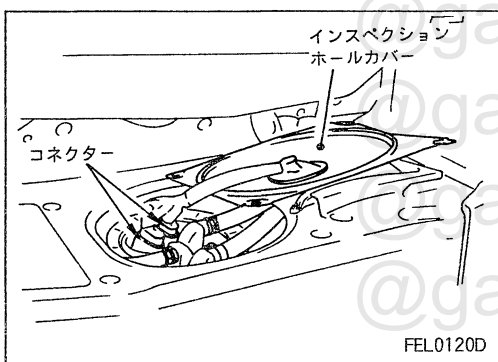
### 取り付け (続き)



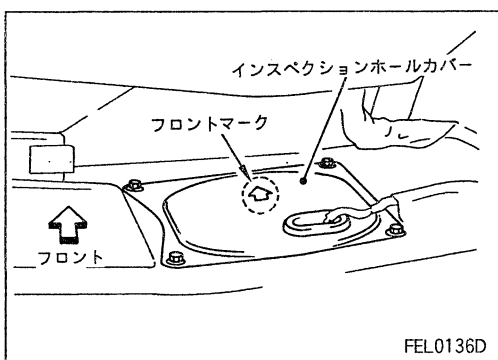
- ホースは確実に接続する。
- クランプはバルジ部分（段差部分）にかからないよう取り付け、確実に締め付ける。



9. フィラチューブカバーを取り付ける。
- 矢印を上に向けて取り付ける。



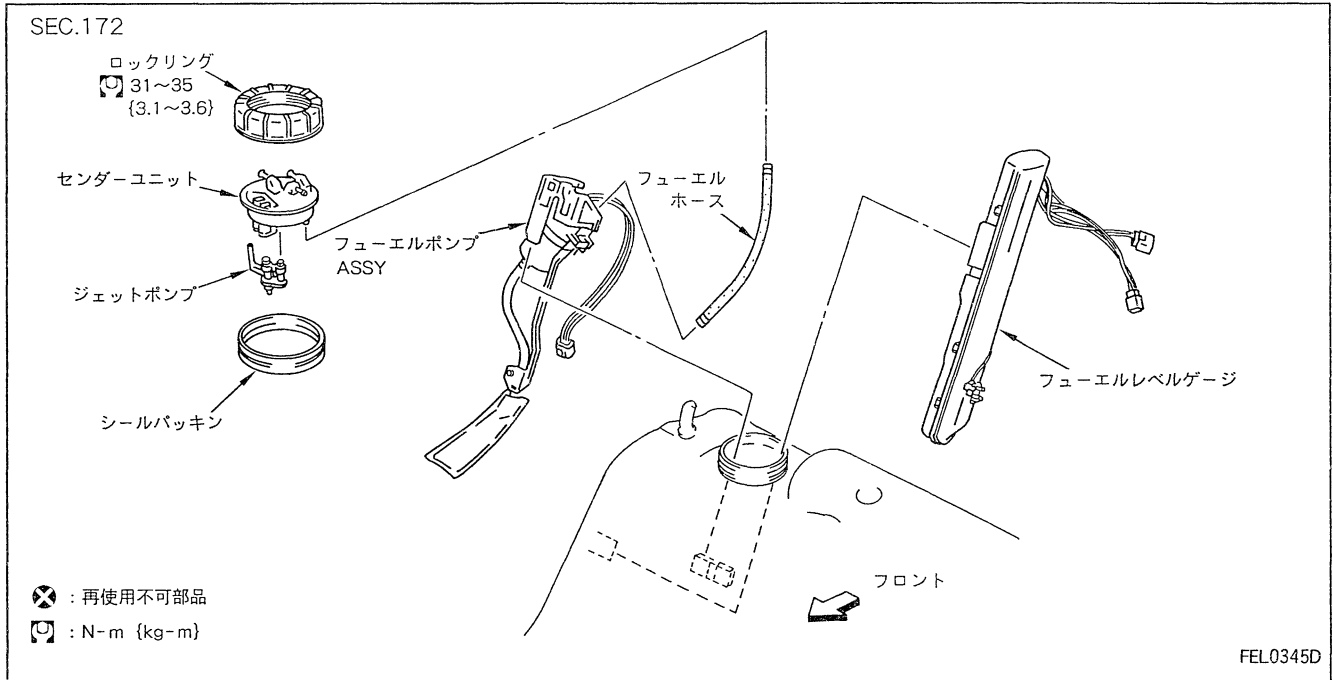
10. フューエルセンサーユニットにコネクターを接続する。



11. インスペクションホールカバーを取り付ける。
- 矢印がフロント側を向くように取り付ける。
12. 以下は取り外しと逆の手順で取り付ける。

### 点検

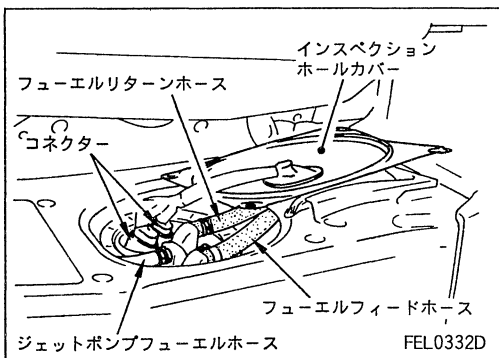
- 各クランプが確実に締め付けられているか確認する。
- キースイッチをONにし、燃料配管に燃圧をかけたとき、各接続部から燃料の漏れがないか確認する。



注意 : 脱着時の注意事項は、「フューエルタンク」の項参照。

### 取り外し

1. トランクリッドを開ける。
2. トランクルームフロントフィニッシャーを取り外す。(標準車)  
(「BI編トランクトリム」の項参照)
3. ストラットタワーバーを取り外す。  
(「スカイラインR33型整備要領書 (A006023) BE編リヤストラットタワーバー」の項参照)
4. リヤフロアボードを取り外す。  
(「BE編リヤストラットタワーバー」の項参照)
5. 燃圧を除去する。(「フューエルタンク」の項参照)
6. バッテリーマイナス端子を外す。
7. フューエルフィルターリッドを開ける。
8. フィラーキャップを開放しフューエルタンク内圧を抜く。
9. リヤスピーカーアンプ、リヤスピーカーアンプブラケットを取り外す。(「BEL編オーディオ」の項参照)



10. インスペクションホールカバーを開け、フューエルセNDERユニットからコネクター及び燃料ホースを外す。
  - 取り付け時に誤接続しないよう合いマークをつける。

## フューエルポンプ、フューエルゲージ

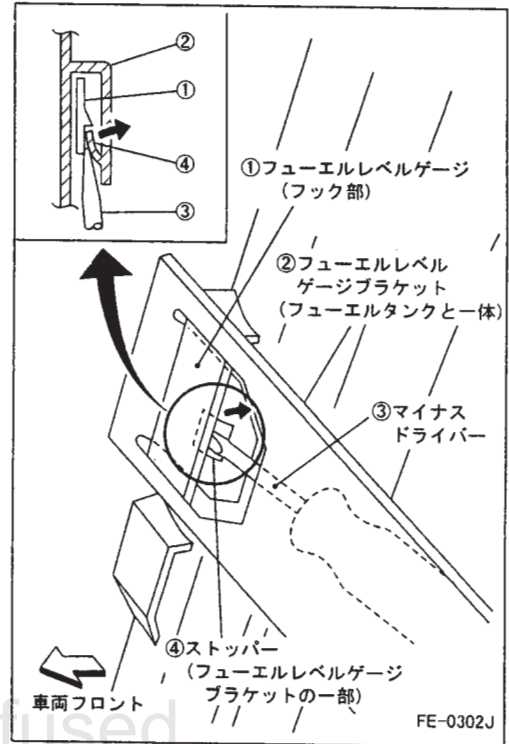
採用時期 : 1996年10月生産車より

変更内容 :

- ・フューエルレベルゲージブラケット（フューエルタンクと一体）のフューエルレベルゲージ取付部にストッパー④を追加
- ・本変更に伴いレベルゲージの取り外しは下記手順で行う。

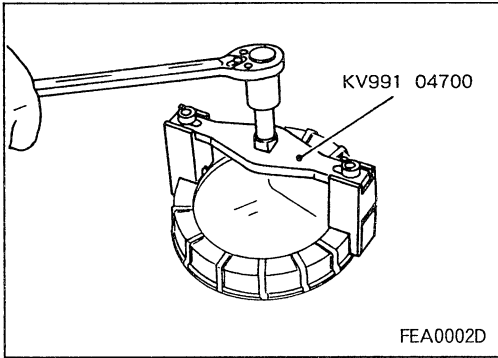
1. 軸径6mm位のマイナスドライバーをストッパー④とフューエルレベルゲージフック部①の間に挿入する。（これにより、ストッパー④は押し上げられる）
2. マイナスドライバーを挿入した状態を維持しつつフューエルレベルゲージと共に水平に左方向へ抜き取る。

注意：マイナスドライバーには、脱落時の救出用にヒモを付けておくこと。

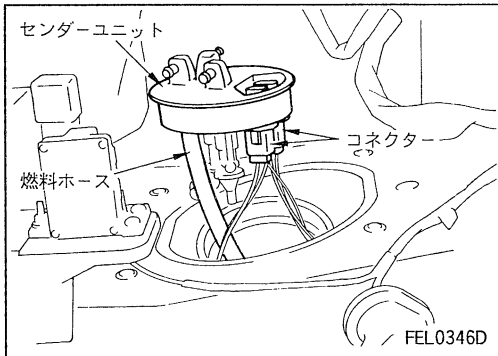


@gabednconfused  
@gabednconfused  
@gabednconfused  
@gabednconfused

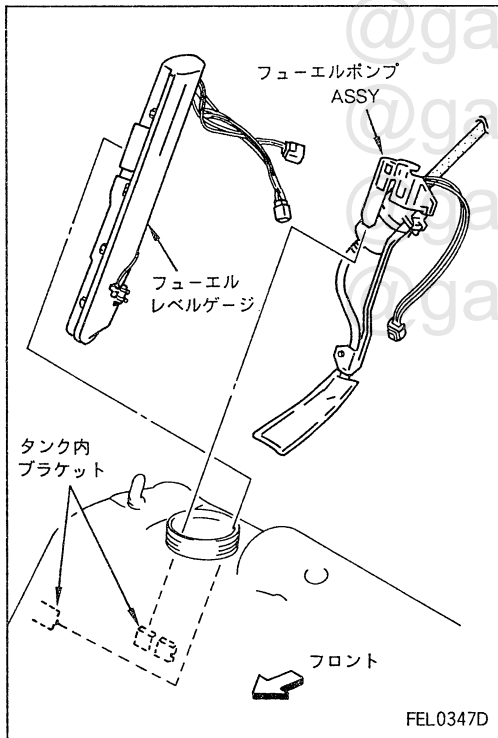
取り外し (続き)



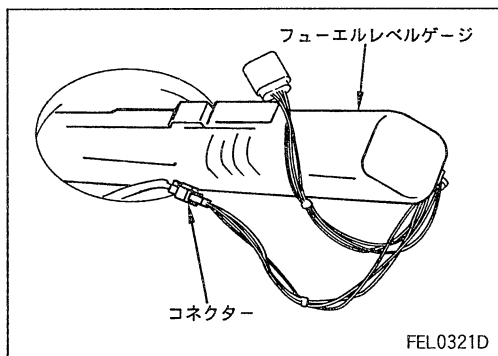
11. ロックリングレンチ (特殊工具) を用いてロックリングを取り外す。



12. フューエルセクターユニットを持ち上げ、コネクタ及び燃料ホースを外す。  
13. フューエルタンク内の燃料を抜き取る。



14. フューエルポンプを取り外す。  
• 上方方向にフューエルポンプをスライドさせて取り外す。  
15. フューエルレベルゲージを取り外す。  
(1) 車両左方向にフューエルレベルゲージをスライドさせてフューエルタンク開口部まで取り出す。



- (2) コネクタを外し、フューエルレベルゲージを取り外す。

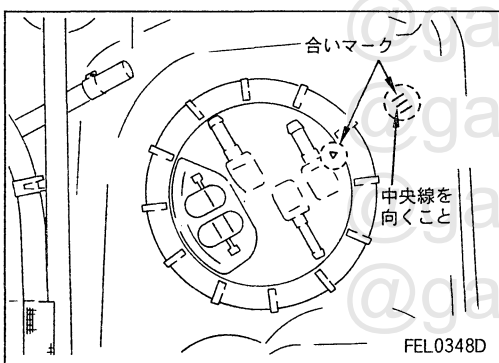
### 点検

- フューエルポンプは、「EC編系統別の故障診断フューエルポンプ系統」の項参照のこと。
- フューエルゲージは、「BEL編メーター故障診断」の項参照のこと。

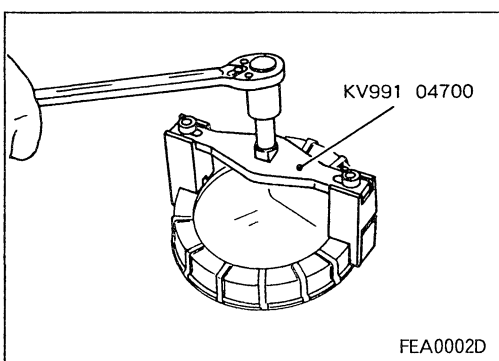
### 取り付け

取り付けは、下記に注意し取り外しの逆の手順で行う。

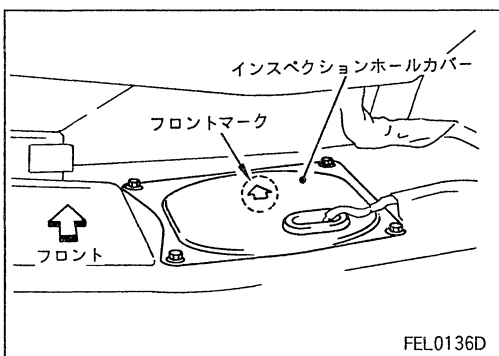
- 燃料ホース、コネクタは確実に接続する。
- フューエルポンプの配線は、極の誤接続をしないよう注意する。
- シールパッキンは新品と交換する。



- フューエルセンサーユニットの合いマークがフューエルタンク側の3本の中央の線を向くよう取り付ける。



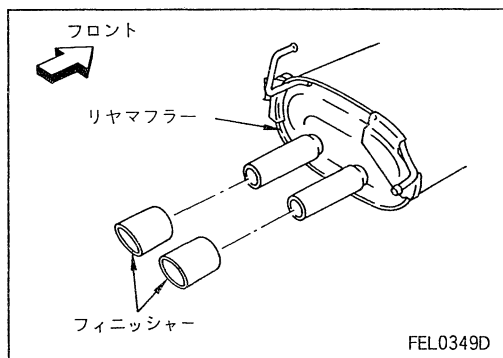
- ロックリングレンチ（特殊工具）を用いてロックリングを締め付ける。  
締付トルク (N-m {kg-m}) : 30 ~ 35 {3.1 ~ 3.6}



- インスペクションカバーは矢印が、フロント側を向くよう取り付ける。

注意

- 排気系部品は材料的に耐熱、耐腐食性、また、形状的にも十分配慮してあるので、必ず純正部品を使用すること。
- エンジン停止直後はエキゾーストシステムが熱くなっているので作業は十分冷えた状態で行うこと。



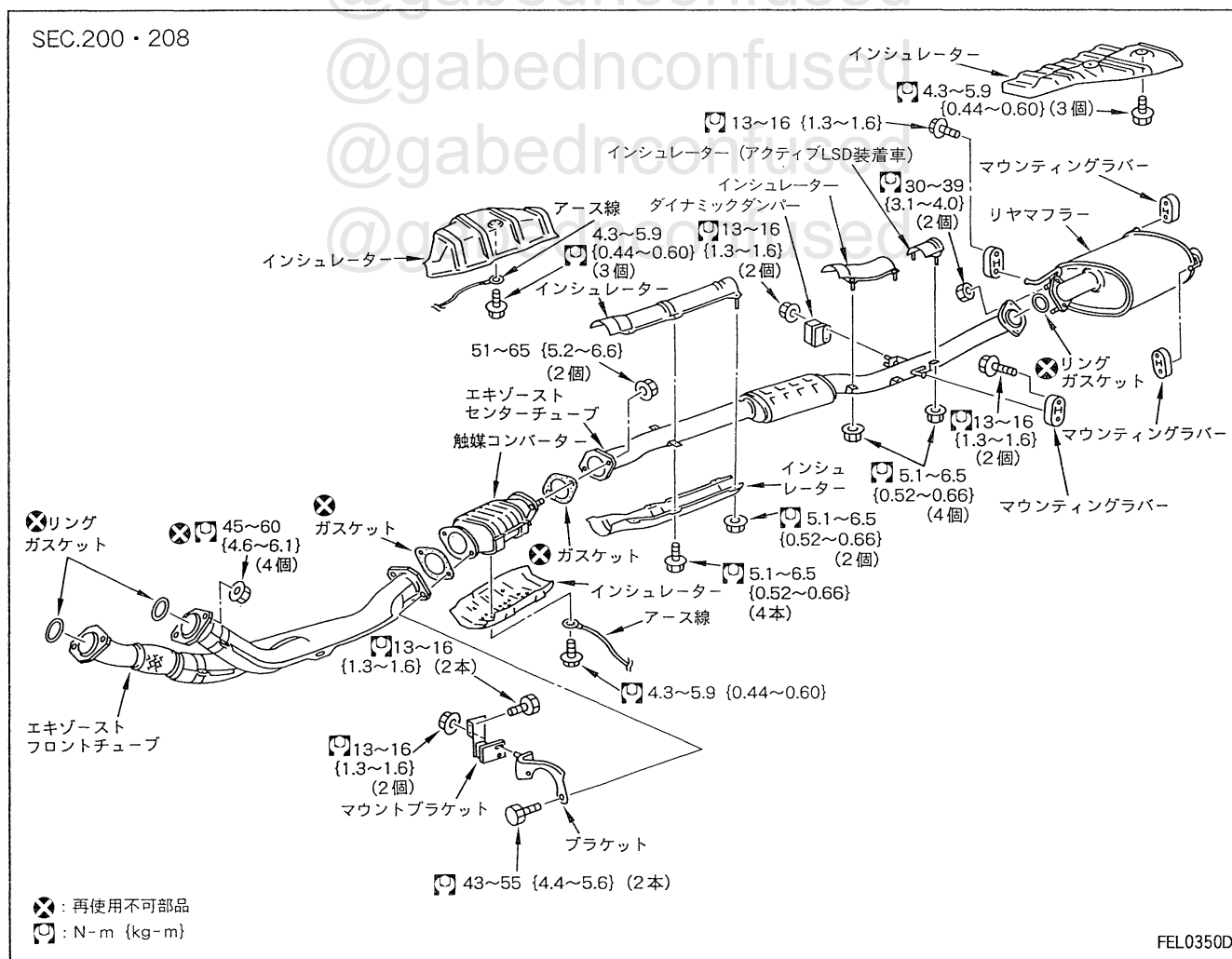
RB20E、RB25DE (デュアルモードマフラー非装着車)

- フィニッシャーを追加した。
- フィニッシャー追加に伴いテールチューブ形状を変更した。

取り付け

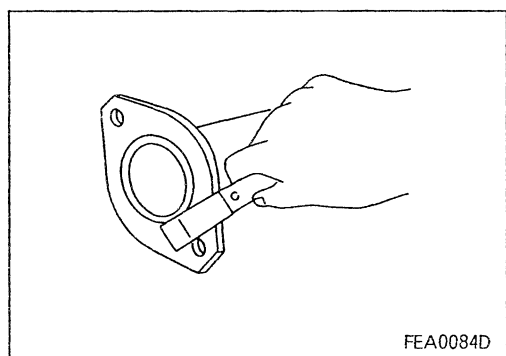
- フィニッシャーが位置決めストッパーに当たるまで確実に挿入する。

SEC.200・208



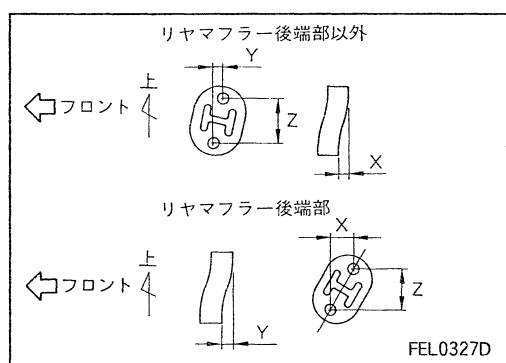
### 取り外し

- 各接続部で分割し、取り外す。



### 取り付け

- 遮熱板に著しい変形があるものは、修正又は交換する。また泥などの著しい積があるものは、これを取り除く。
- 遮熱板は各排気管との間に著しいすき間や干渉がないよう取り付け。
- 各接続部のシール面は、ガスケット等の付着物をきれいに除去し、その後、ガス漏れのないよう確実に接続すること。
- 各ガスケットは、全て新品と交換する。
- フロントチューブ取付ナットは新品と交換する。
- 排気管ASSYの取り付けは、エキゾーストマニホールド側取付ナット及び車体側取付ボルトの仮締めを行い、各部に異常なつっぱりなどがないことを確認し、規定のトルクで締め付けること。
- 各クランプは、インシュレーター側の突起とクランプ側の穴を合わせて取り付け。
- 各マウントラバーはこじれ、上下左右の引っ張りに注意して取り付け。



- 各マウントラバー取付状態のオフセットが以下になるよう取り付け。

部 位	X	Y	Z	
エキゾーストセンターチューブ	0	5	43	
リヤマフラー前端	0	5	43	
リヤマフラー後端	右側	38	0	29
	左側	38	0	29

### 点検

- エンジンを始動し、各接続部から、ガス漏れがないか点検する。
- 腐食による排気ガスの漏れがないか点検する。
- 腐食による排気ガスの漏れがある場合は新品と交換する。



M E M O

@gabednconfused  
@gabednconfused  
@gabednconfused  
@gabednconfused